

ヒトミハタ

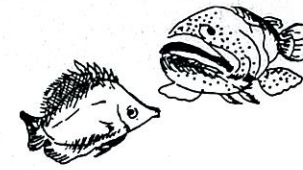
分類:スズキ目 スズキ亜目 スズキ科 ハタ亜科
 学名:*Epinephelus tauvina*
 英名:Greasy reef-cod

沖縄からフィリピン、印度洋の熱帯海域及びミクロネシア、ポリネシア、オーストラリアの珊瑚礁域に分布し、群を作らず、大きく移動することもない。

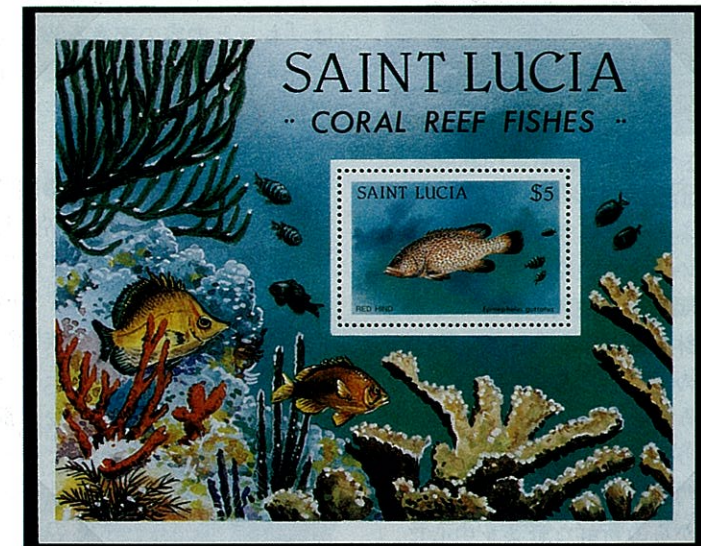
体長1mにもなる大型種であるが、南方海域では2mの超大型種も記録されている。体色は淡黄色の地に円形の茶褐色の斑紋がある。頭部が長く吻は尖って見える。背鰭第8~9棘の基部に黒色の斑紋があるが成長するにつれ、この斑紋は不明瞭になる。一般に釣りで漁獲され、刺身として美味である。



E. guttatus



ヒトミハタ



ヒトミハタの一種 *Epinephelus guttatus*



ヒトミハタ *Epi Epinephelus tauvina*